

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校 学校番号 49

I 自己評価

1	学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。		
2	スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
		・生きる知恵をもって社会でリーダーシップを発揮する生徒 ・自ら問いを立て「探究」する生徒 ・心に故郷を抱き、世界を見据える生徒	・質の高い授業と「探究」する学びの提供 ・社会や自然とつながる多様な学びの場の提供 ・一人一人が輝き、仲間とつくる感動の場の提供	・基礎学力と基本的な生活習慣を身に付けた生徒 ・志をもって自分を伸ばそうとする生徒 ・大学進学を目指す生徒
3	評価する領域・分野	◇探究企画		
4	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・総合的な探究の時間「生き方我が道」でのテーマをもとに進路実現を果たす生徒が多く、将来の人生設計の一端を担っている点において保護者・生徒の探究活動への評価が上がってきていると考えられる。		
5	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇グローバル探究実践事業の指定を受け、地域について深く学び、更に外に向けた広い視野を持つ、グローバル社会の中での地域人としての意識を育てる。昨年度のインクワイアリー事業の探究活動を継続しふるさと探究の深化、アントレプレナーシップの醸成、課題解決能力視覚化・デザイン化能力等の向上を目指す。		
6	重点目標を達成するための校内における組織体制	・総合探究「生き方我が道」ゼミにおける地域社会との連携 ・3Dプリンター等ICTを活用した指導技術の向上		
7	目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
	(1) 総合的な探究の時間「地域の良さを形にしよう」「社会課題に取り組もう」「生き方我が道」 (2) 恵那田舎塾・恵那地球塾・グローバル探究実践・目指せ商品化プロジェクト	(1) 生徒意識調査 (2) 連携先・保護者・教員へのアンケート (3) 成果物		
9	取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
	・「地域の良さを形にしよう」では地域企業と連携し、授業内でデザインに関するアドバイスを頂き、アイデアの視覚化に取り組んだ。 ・恵那田舎塾と恵那地球塾のコラボ講座として、海外留学生の体験発表会を実施した。	① 生徒の探究する姿勢の向。 ② 探究の手法の定着。 ③ 生徒のICTを活用する技術と意欲の向上	<input checked="" type="radio"/> A B C D A <input checked="" type="radio"/> B C D <input checked="" type="radio"/> A B C D	
12	成果・課題	総合評価		
	○1年生の総合探究「地域の良さを形にしよう」では、2年目の取り組みでもあり、先輩達の実績を参考にしたより独創的なアイデアや創造性がみられた。 ○教員に対する3Dプリンターの研修を行い、昨年度よりも教員のICT活用技術が向上し、短時間で効率的な指導ができるような体制が整ってきた。 ○目指せ商品化プロジェクトの企画として、企業とコラボし「新感覚からすみ」の制作を進めている。 ▲地元から世界へと視野を広げ、社会で幅広く活動できるよう「社会課題に取り組もう」や「生き方我が道」への繋がりを確実なものにする必要がある。	A <input checked="" type="radio"/> B C D		
13	来年度に向けての改善方策案	「地域の良さを形にしよう」で地元の課題を探究するのみでなく、他の地区との比較を取り入れることや今までにない切り口を見つけることで、より深掘りした探究活動になるように指導していく。理数課部との連携し探究の手法を定着させ、3年間の探究学習を通して、主体的・協働的に探究活動を進められる、自走する生徒達の育成に力を入れる。		

II 学校関係者評価

実施年月日 :令和5年2月10日

【意見・要望・評価等】

・「目指せ、商品化！」の取り組みは、実業高校ではない恵那高校にとって素晴らしい挑戦である。今後も地域の方と連携した実践を取り入れていただきたい。又、生き方我が道のゼミの助言者として同窓生を活用してはどうか。同窓生で専門性を持って活躍する地域社会人に声をかけ、ボランティアで生徒の指導ができる人をリストアップしてはどうか。100周年事業の一つとして、取り組めるのではないか。